

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

| | |
|---------------------------------------|--|
| ①研究課題名 | 加齢性神経疾患のシングルセル RNA-seq 解析 |
| ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者 | <p>オプトアウトでの同意は過去に「病理解剖、病理検体の保存とその診断・研究・教育仕様についての承諾書」に同意をいただいた患者さんの剖検組織由来の遺伝子を対象とします。</p> <p>主な過去の研究課題：血管病における疾患責任遺伝子の同定</p> <p>研究責任者：柿田 明美</p> <p>本学および関連病院において、試料提供者の親族から同意を得て新潟大学脳研究所病理学分野が行った病理解剖例です。このうち、臨床病理学的に加齢性神経疾患と診断されたものを検索対象とします。</p> |
| ③概要 | <p>脳小血管病、筋萎縮性側索硬化症、前頭側頭葉変性症、アルツハイマー病、脳アミロイド性脳症、パーキンソン病は、脳の血管や脳神経細胞の変性によって生じる神経疾患ですが、原因は分かっておらず、有効な治療法が確立していません。これらの神経疾患群の発症率は加齢とともに増加しますが、なぜ加齢に伴ってこれらの疾患群の発症リスクが増すのか分かっていません。</p> <p>加齢とこれらの病気との関係を調べるために、今回の研究では、病理解剖の同意取得時に遺伝子の解析について同意いただいた方の脳組織の一部（1g 程度）を使わせていただきます。脳組織から RNA と呼ばれる核酸を抽出し、様々な遺伝子の発現の量が疾患ごとにどのように変化しているかを、最新の技術を駆使して一細胞ごとに調べます。遺伝子発現の変化を一細胞毎に調べることで、これらの加齢性神経疾患の原因解明を目指します。</p> <p>個人を識別する情報は用いず匿名化した試料、情報を用いて解析し、プライバシーを保護した上で解析を進めます。研究の主旨をご理解いただきご協力をお願いできましたらありがとうございます。研究への参加に同意いただけない場合は、拒否いただくことももちろん可能です。その場合は「⑪お問い合わせ先」までご連絡下さい。拒否いただいた場合に、なんらかの不利益が生じるあることはございません。</p> |
| ④申請番号 | G2021-0034 |
| ⑤研究の目的・意義 | 加齢性神経疾患の病気の仕組みの解明を目的とします。 |
| ⑥研究期間 | 倫理審査委員会承認日から 5 年間 |
| ⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） | 過去の研究課題でご同意・提供いただいた剖検組織由来の遺伝子産物（RNA）を調べます。対象疾患は、脳小血管病、筋萎縮性側索硬化症、前頭側頭葉変性症、アルツハイマー病、脳アミロイド性脳症、パーキンソン病です。これらの疾患の原因となる遺伝子発現の変化を、専門の機器を用いて、一細胞毎に調べます。試料、情報はすべて匿名化した上で、解析を行います。また必要に応じて、解析データを⑩の共同研究機関と共有します。情報を共有する際には、個人を識別できる情報は用いず匿 |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>名符号した番号を付与します。医学に広く役立てるために、研究解析データは個人を識別することができない形で研究者間で共有されることや国内外の公的なデータベースに提供されることがあります。また研究の成果は、国内外の学会や学術誌において発表されることがありますが、個人が同定される情報が公表されることはありません。</p> |
| ⑧利用または提供する情報の項目 | <p>利用する試料：脳組織 利用する情報：神経病理学的所見、臨床情報（年齢、性別、症状など）</p> |
| ⑨利用する者の範囲 | <p>新潟大学および以下の共同研究機関等に遺伝子解析情報や臨床情報で利用いたします。 新潟大学 分子神経疾患資源解析学分野 加藤 泰介 共同研究機関：中部大学、福岡工業大学、北海道大学、京都大学</p> |
| ⑩試料・情報の管理について責任を有する者 | <p>新潟大学 分子神経疾患資源解析学分野 加藤 泰介 新潟大学 臓器関連学 横関 明男 共同研究機関：中部大学、福岡工業大学、北海道大学、京都大学</p> |
| ⑪お問い合わせ先 | <p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 分子神経疾患資源解析学分野 氏名：加藤 泰介 Tel：025-227-0682 E-mail：taisuke8077@bri.niigata-u.ac.jp</p> |